

医学部看護学科

香川大学

ナーシング・プロフェッショナル育成入試ガイド (総合型選抜Ⅰ)

2026



(香川大学三木キャンパスの所在地 三木町にて撮影)

目次

香川大学ナースング・プロフェッショナル育成入試 (NP入試) とは	2
NP入試の日程について	3
第一次選抜提出書類について	3
香川大学医学部看護学科が求める学生像	4
第二次選抜について	4
香川大学ナースング・プロフェッショナル育成入試 学生募集要項説明会	5
NP入試合格者への入学前教育について	5
NP入試で入学した在学生の声	6
養護教諭コース選択者の声	10
在学生・卒業生から受験生へメッセージ	12
香川大学医学部附属病院で働く卒業生の声	13
博士前期課程・公衆衛生看護学コースへ進学した大学院生の声 (保健師養成課程)	14
博士前期課程 助産学コースへ進学した大学院生からのメッセージ (助産師養成課程)	15
香川大学医学部看護学科 NP入試 入学者出身校	16
香川大学医学部看護学科 NP入試入学者 出身地・進路	17
香川大学医学部看護学科をもっと知るために	18

香川大学ナースング・プロフェッショナル 育成入試（NP入試）とは

香川大学は

「世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し、地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」

という大学の理念にふさわしい学生を求めています。

看護学科では

看護の対象を包括的に捉え、問題解決するための論理的思考力や判断力、根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力が必要です。

多面的な視点から思考し、自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

主体的に多様な他者と関わり、他者の意見や価値観を尊重し、相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

を備えている人を求めています。

〈香川大学ナースング・プロフェッショナル育成入試（NP入試）とは〉

香川大学医学部看護学科では、大学入学共通テストを課さない「総合型選抜Ⅰ」を実施しています。

第1次選抜（書類選考）と第2次選抜（小論文試験及び面接）により、

アドミッションポリシーに合致した優秀な人材を選抜しています。



- ◆ 大学入学共通テストは課しません
- ◆ 1校あたりの出願人数に制限はありません
- ◆ 学校長による推薦書は必要ありません
- ◆ 募集人員は「25人」です

入学希望者の意欲や個性を大切にし、高校生**自らの意思により**、エントリーできる入試です（既卒者も出願できます）。



●日程について



第一次選抜提出書類について

2026香川大学 ナーシング・プロフェッショナル育成入試（NP入試）の出願書類は以下のとおりです。詳細は募集要項をご確認ください。

◎は必須 ○は任意

◎看護学を香川大学で学ぶ動機及び根拠（1,000字以内）
“香川大学で”という内容が必ず含まれる必要があります。

◎合格後、入学までの約5か月の間に、看護学を学ぶ準備としての具体的な取り組み内容（600字以上800字以内）

◎エッセイ（1,000字以内）（3つのテーマの中から1つを選択）

- A. 自分の考えや行動を分析する「内省」は、自己の成長に重要です。あなたは、自身の内面と向き合うことはどのように自己の成長とつながると考えますか。
- B. 感謝の気持ちは、人間関係にどのような良い影響を与えると考えますか。
- C. 他者の多様な生き方を理解するために、あなたに必要なことは何ですか。

○意欲的に取り組んだ活動・課題研究等（100字まで入力可能）
複数ある場合は3件まで入力可能ですが、件数による評価は行いません。

○取得資格・検定等
証明書についてはコピー（A4サイズで統一）を提出してください。
提出された書類は返還しません。

看護学科では、

- ◆看護の対象を包括的に捉え、問題解決するための論理的思考力や判断力、根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力
 - ◆多面的な視点から思考し、自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力
 - ◆主体的に多様な他者とかかわり、他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力
 - ◆人々の健康を支援するために看護に高い志と強い関心を持ち、継続して意欲的に課題に取り組むことのできる能力
 - ◆看護専門職として国内外を問わず社会に発信し、生涯にわたり学び続ける態度
 - ◆尊い人命を預かる看護専門職者として、また社会の構成員としての、自覚と責任を持ち、自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力
- が必要です。

以上のことから入学を希望する人は、高等学校において国語、理科、外国語、数学、社会の各教科の基礎学力を十分に身につけておいてください。



第二次選抜について

◎面接（配点100点）

2025年度は、

3人の医学部教員による、受験者1人あたり15分の個人面接を行いました。

- ・面接に先立ち、前室で提示された設問から、それについての考えを10分間でまとめられました。

その後面接室に移動し、発表してもらいました（約5分）。

- ・引き続き、志望理由や動機、科学的な興味や関心などについて、質疑応答を行いました（約10分）。

志望動機や勉学意欲、科学的な基礎知識、論理的な思考力、自分の考えを言葉にしているの確に伝えること ができているかなどを評価しました。

***前回のNP入試がどのように行われたかについて示したものです。**

2026年度NP入試が同様に行われるということではありません。ご注意ください。



香川大学ナースング・プロフェッショナル育成入試 学生募集要項説明会

NP入試に特化した説明会を6月に実施しています。

期間限定でのアーカイブ配信もご覧ください。

(裏表紙QR参照)

日時：2025年 6月14日(土)

場所：看護学科棟 209講義室

1階ラウンジ 教員による個別相談

(在学生への質問コーナーあり)



NP入試合格者への入学前教育について

香川大学医学部看護学科では、NP入試合格者に対して、3回(11月、1月、3月頃)の入学前教育を行っています。

【1回目・2回目】

2025年度入試合格者に対しては、第1次選抜の際に提出された入学までの勉強計画に関する取り組み内容について、3人一組で担当教員がオンライン指導を行いました。

⇒1人1人に合わせたアドバイスや進め方を一緒に考え、入学まで不安がないように丁寧にフォローしています。

【3回目】

対面で入学までの自己目標の取り組みと評価についてパワーポイントなどを用いて発表してもらいました。その後、看護学科の先生から生化学の基礎の授業を実施しました。

⇒生化学は看護学科で開講される科目を学ぶ上で重要な科目の1つです。
理系科目を選択していなかった学生さんは大学に入ってから学ぶことになるので、不安を抱える学生も少なくないようです。

入学前教育に参加したNP入試合格者の声

NP入試合格後は教員と合格者2～3人でグループが作られ、合格後にすべきことについて計画を立て実施しました。また私は自主的に看護学の勉強や英語の勉強など自分の深めたい勉強を行っていました。NP入試で早めに合格したからと言って一般入試で合格した人たちと比べて、勉強量が少なくなることはなかったので大学入学後に勉強面で困りませんでした。
(岡山県立津山高等学校 只友理沙)

NP入試で入学した在学生の声



自分の特性を生かして

1年生 芳地 初音さん
(香川県立丸亀高等学校出身)

私は小学四年生の頃に担任の先生から資格を取りなさいと言われたことに感銘を受け、母の職業でもある看護師を志すようになりました。私は人と関わることが好きで、医師よりもより近い立場で患者さんに関われる看護師という職業に強く惹かれました。

私が進学先として香川大学を選択した理由は、地域医療に深く貢献したいと考えていたからです。現在、日本は少子高齢化が進んでいます。私の地元の三豊市では特に進んでおり、看護師としてどうアプローチできるかを学びたいと考え、地元香川のことを深く学べる香川大学に進学しました。



入学までにはボランティアや生徒会など、主体性や自主性を高め、内面を成長させられるような活動をしていました。高校時代は自由生徒会に所属し、同級生や先輩、下級生や先生と協力しながら学校行事の企画や運営に取り組んでいました。医療の現場でも仲間とのチームワークは欠かせないので、生徒会での経験は自分の大きな強みになっていると思っています。大学に合格してからは、定期的に献血ボランティアや医療系学習会に参加しています。献血ボランティアでは主に献血ルームの前などで呼びかけを行っています。医療系学習会では授業では学べないけれど、医療従事者として大切な倫理観やポリシーを学んでいます。実際に医療現場で働いている看護師さんや理学療法士さんのお話を聞ける貴重な機会です。学力的な面だけでなく内面も磨くことができていると感じています。香川大学は勉強だけでなく部活等も盛んに行われています。部活を通して他学科、他学年の人ともコミュニケーションをとることができ、かけがえのない仲間も増えます。多くの仲間と切磋琢磨し、協力し合いながら日々過ごしています。

今後はより専門的な内容を学んでいくと思いますが、今までよりももっと自主的に勉強し、友達と協力しながら深い学びを行っていきたいです。実習等も今後増えていくと思うので、仲間と共に協力しながらひとつひとつの経験を自分のものにしていけたら良いと思っています。

皆さんも香川大学の看護学科で学んでみませんか。



自ら行動して夢の実現へ

2年生 石橋 竜一さん (愛媛大学附属高校出身)

高校入学時から大学進学を目指していましたが明確な夢が見つからず、なかなか勉強に身が入りませんでした。そんな中、ある日の下校中、目の前で交通事故が起きました。学校で救命講習を受けていたのにも関わらず体が動かず、何もできない自分自身に不甲斐なさを感じて患者さんの一番近くで寄り添って、元気になるお手伝いをしたいという気持ちが芽生え看護師を志すようになりました。

その中でも救急看護に携わりたいと感じ、私が興味がある一次救命処置について論文を出している先生がいらっしゃる香川大学を志望しました。



また、香川大学ネクストプログラムには救急看護に携わる上で必要となる災害について学ぶことができるカリキュラムがあることにも惹かれました。加えて、NP入試では合格発表が他大学に比べ早い時期にあるため、合格後の期間を使用して看護学を学ぶ上でやっておきたい明確な目標があったため、私には香川大学しかないと思いました。夢を見つけてからは夢を実現するために勉強や部活動により一層励みました。ボランティア活動に参加したり、献血に参加したり、看護体験に参加したり、ナイチンゲールの看護観の本を読んだりなど夢に近づくために積極的に行動しました。



香川大学では総合大学であるため、専門分野の学習に加え、文理問わず様々な学問を学ぶことができ、多くの人と関わることもできるため看護に必要な不可欠な基礎学力やコミュニケーション能力を十分に養うことができます。さらに、他国との国際協力も積極的に行われており、多様な文化や価値観を受け入れることができるとともに英語力の向上が期待できる香川大学を選んでよかったと日々感じています。

みなさんも、緑豊かなこのキャンパスで、ともに学びませんか。

夢の実現へ向けた想い

3年生 井上 諒香さん (岡山県立矢掛高等学校出身)

高校1年生のころから助産師になりたいという夢がありました。その夢を叶えるための学ぶ場はたくさんあり、どこで学びたいのか悩みました。唯一決めていたことは、4年間色々な角度から医療、看護を学ぶことのできる大学に行きたいということだけでした。そのために地元である岡山から東京にあるたくさんの大学を調べました。その中で見つけたのが香川大学のナース・プロフェッショナル入試です。興味を持ったのは自分でも国立大学で看護を学べるかもしれないと思ったからかもしれません。しかし、入試を通して、香川大学で学べるかもしれないという思いが、絶対に学び、助産師になるという思いに変わりました。

看護に対する思いがより強くなったのは入試の出願の際に提出する書類を考えたときからでした。香川大学で学ぶ動機やエッセイ、入学までの5か月間で看護学を学ぶためにどんな準備を行うかをそれぞれ考えました。私は今まで、どうして助産師になりたいと思ったのか自分で深く考えたことがありませんでした。「赤ちゃんが大好き」「誰かの命を助けたい」「困っている人の力になれるような知識をつけたい」などのようなざっくりとした理由しかうまく言葉にできませんでした。

そこから高校の先生とマンツーマンで自分の思いを掘り下げていきました。すると、助産師になりたいと思ったのは小さいころから妊婦さんが気になり、命の誕生に興味を持っていたことから始まっていたこと、看護を学びたいと思ったのは身内が病気になった際、自分の無力さが悔しくてたまらなかったことから繋がっていたと知ることができました。

また、目標とする看護者の像も作ることができました。私は入学前の看護学を学ぶための取り組みの1つとして保育園で数日ボランティアをさせていただきました。看護も保育もかけがえのない命を守る仕事で大切にされていることは同じと考え、視野を広げるために行いました。そこでの学びは今の看護学の演習にも生かされていると思います。患者さんの立場になり、どうしたら不安を与えてしまわないか、どうしたら患者さんの変化に気づくことができるのか、どうしたら安全に看護をすることができるのか考えるようにしています。

ナース・プロフェッショナル入試だったからこそ、助産師という夢を持ち、今看護を学ぶことができていると感じています。自分なりの看護観をもち、理想とする助産師になるための階段をのぼる準備がこの入試でしっかり準備できたことは今の頑張りにも繋がっています。



香川大学で見つけた新たな夢

4年生 廣畑 颯花さん

(岡山県立玉野光南高等学校出身)

看護師を目指して

私は幼い頃から皮膚が弱く病院に行く機会が多い子供でした。2週間ごとに通っていた病院で採血されるのが嫌で仕方なかった時、総合病院の看護師さんが痛みもなく素早く採血を終わらせてくれたことに感動し、なんとなく看護師になりたいと思い始めました。

高校生になり進路を決めるとき、私は学費が安く看護以外の事も幅広く学べる国公立大学を受験する事を目指して勉強していた中で、香川大学のNP入試を先生に教えていただきました。実家から通える範囲での大学進学を考えていたため香川県へいくことは不安でしたが、NP入試が主に文章を書いたり、話したりする力が求められるため自分の得意な分野を生かすことができると知り受験を決めました。志望理由書やエッセイ、そして合格後どのように勉強していきたいかを担任の先生方に協力していただきながら提出した後、私は英語が特に苦手だったので英語の文章が読めるように、そして小論文というものの書き方について学校の先生に教えていただきながら勉強していました。特にエッセイは普段書く機会もなく未知のものでしたが少し難しいテーマでも自分の考えをまとめて伝える力が養われました。面接は事前にも聞かれそうなことに対する回答をまとめて覚えたりしていましたが、本番では予想と違ったことを聞かれましたが、自分の素直な考えや気持ちを伝えることを意識しました。合格後は一般受験でも合格できる力が身に着けられるよう他の友達と一緒に共通テストまで勉強し、共通テスト後は計画書に基づき英語や理科の勉強、看護に関係する本を読んだりしていました。

香川大学医学部看護学科での学び

1年生の時は看護学だけでなく、他の学部の人と一緒に本学で授業を受けます。自分たちで履修登録を行って好きな授業を選択し自分の興味のある分野について勉強することができる点は今までの勉強と違いとても楽しかったです。またそこで学んだ知識が看護の授業で活かすことができ、この点が大学で看護を学ぶ大きな利点だと思います。

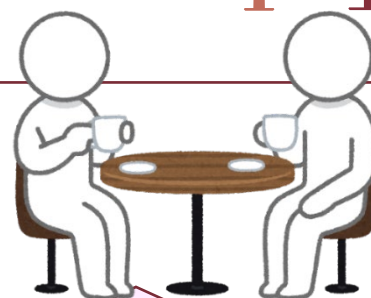


2年生での一番大きな出来事は初めて2週間の病院実習に臨むことでした。みなさん看護の実習と言うと怖い、大変、寝られないなどのイメージが強いかもしれませんが。私も同じように思っていたのですが、先生方は親身になって一緒に考えてくれ、私が疑問に思ったことを詳しく教えてくださいました。看護師さんたちは私達の拙い意見にも耳を傾け、指導していただけました。体調もしっかり管理でき、終わった後は楽しかったと思える実習でした。香川大学医学部附属病院の理念には医学教育を推進することが含まれており、病院の看護師さんたちは私達がより良い看護師になれるように協力してください。香川大学の看護学科の一番魅力的な部分はこの病院実習の受け入れ体制にあると思っています。

3年生の頃から将来の道も少しずつ固まりました。実は高校生の時は課題研究で地域に関連度の高い分野を扱っていたため地域看護の方に進もうかと思っていました。しかし様々な講義を受け、経験を積む中で今では看護教育の道に興味を持ち始め、まだわかりませんが特に急性期の小児の分野へ進み、将来的には大学の先生になりたいとも考え始めました。私はもちろん、高校生の皆さんには何にでもなれる、何でもできる道が広がっています。少しでも人と関わる仕事をしてみたいという人は、香川大学の看護学科と一緒に学んでみませんか。

養護教諭コース選択者の声

どうしてナース・プロフェッショナル育成入試（NP入試）を受けたのですか？



高校2年生のときから香川大学の看護学科に行きたいと決めてました。多くのチャンスを得て確実に入学したいと思って、NP入試を受けたんです。一般入試の人より先に合格した分、心に余裕を持ちながら興味のある分野の勉強に時間を使えました。

4年 山内理子

私は高校生の時に、こども食堂などのボランティア活動や部活動に精力的に取り組んでいました。NP入試は、高校での学力成績はもちろんのこと、学校内外の活動も含めた多方面から総合的に評価していただくことができるので、私に合った入試形態だと思い、受験を決めました。

4年 徳田萌花

高校3年の春頃にNP入試があることを知り、チャンスは多ければ多い方がいいと思い受験しました。また、受験の概要を読み、高校で取り組んだ課題研究が自分の強みとして活かせると思ったからです。また、合格後の時間を自分の学びを深めるために使える点が利点であると考えました。

4年 次田萌笑

勉学に励みながら、アルバイトや部活動・サークル活動、学校ボランティアに参加するなど自分の行動次第で実りある大学生活を送ることができます。

私は、バドミントン部に所属しています。部活動のみんなで川遊びやアスレチックに行ったり、大会で他大学の方たちと交流したりと充実した日々を過ごしています。アルバイト代を貯めて海外旅行に行くなどこれまでになかった新しい経験に挑戦し、楽しんでいます。

4年 次田萌笑

大学生活はどうですか？

私は大学2年生の時に、交換留学生としてタイのチェンマイ大学に行き、海外の看護について深く学ぶ機会を得ることができました。それは私にとって、看護観を大きく変えてくれたかけがえのない宝物になりました。

4年 徳田萌花

テストや実習は大変ですが、友達と力を合わせ、共に励まし合いながら乗り越えており、着実に自分の力になっていっているのを感じます。

4年 山内理子

いつごろから養護教諭に興味があったの？

私は、大学入学してからです。1年生のガイダンスで、具体的に養護教諭コースのカリキュラムを知ったのをきっかけに興味を持つようになりました。

4年 山内理子

高校3年生の夏に、看護学科のホームページで養護教諭の免許を取ることができることを知り、興味を持ちました。

4年 次田萌笑

幼いころ、教師になるのが夢だったこともあり、入学当初から学校保健に興味がありました。学校と看護の両面から子どもたちの健康を守り抜いていきたいと思ったのがきっかけでした。

4年 徳田 萌花

看護師と養護教諭の2つの資格を目指すのは大変ですか？

特に2年生の時は看護の勉強も非常に難しく、試験も多いため、教職の課題や試験と両立するのはとても大変でした。でも、養護教諭の勉強をすることで、教育という新たな視点から小児看護や公衆衛生看護を考えることもでき、看護を学ぶ上でも自分の強みになっていると実感しています。

4年 徳田萌花さん

オン・オフの切り替えを大事にして、「遊ぶときは遊ぶ。勉強するときは勉強する」というように楽しみながら行えば大丈夫です。

4年 次田萌笑さん

他の学生よりも多く授業を受け、テストやレポートの期日が重なって少し大変な時もありますが、養護教諭コースでの学びが看護師コースでも生きてくることが多く、やりがいを感じています。今は大変でも、養護教諭コースでしか学べない知識や技術が将来必ず役に立つと信じて頑張っています。

4年 山内理子さん



香川大学の魅力は何ですか？

看護学科では、国際交流が充実しています。チェンマイ大学との交換留学はもちろんのこと、韓国の先生から授業を受ける機会もありました。普段の講義の中で国際看護について学ぶ貴重な機会がたくさんあります。グローバルな視点で看護を学ぶことができるのは、香川大学の大きな魅力の1つです。

4年 徳田萌花さん

医学部附属病院が隣接していて実習環境が整えられていることや、個性豊かな先生方がとても親身になって指導してくれ、安心して学習できるようになっています。

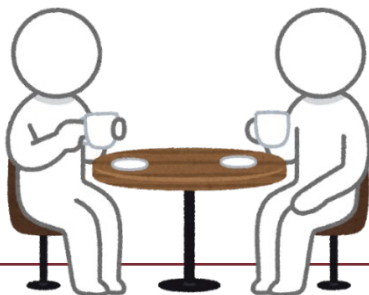
4年 山内理子さん

医学部は、24時間自習室が開いており、いつでも利用することができます。家で、勉強がはかどらないときは、学校に行き友人らが勉強している環境で刺激をもらい、気持ちを切り替え、集中して勉学に励むことができます。

4年 次田萌笑さん

養護教諭の実習は、香川大学教育学部附属小中学校や特別支援学校、幼稚園で行うことができます。

養護教諭コース担当教員



教員採用試験に合格するのは大変と聞きます。対策はありますか？

教員採用試験の全体の倍率は下がっていますが、養護教諭の場合は、1校に1人配置のケースが多く、採用が少ないため高い倍率を維持しています。2023年から始まった「大学3年生前倒し選考」は、実施する自治体が増えてきているため、4年生になってから採用試験を受験するのではなく、早くからチャレンジするのもよいと思います。大学の講義だけでは試験に合格するのは難しいので、早くから自主的に勉強し知識を定着させることが必要です。看護学科では、3年生の後期から教員採用試験対策講座（筆記対策・集団討論・面接・模擬授業など）を行っています。



在学生・卒業生から受験生へメッセージ



2年生 小幡 樹愛さん（岡山県立玉島高校出身）

私は高校の時に挑戦した様々な課外活動や生徒会長などの経験を生かして入試に臨みたいと考え、香川大学のNP入試の受験を決めました。総合型選抜の為、周りよりも早い段階での受験で不安も沢山ありましたが、沢山の方の力を借りて、合格することが出来たと思っています。面接では自分を最大限アピールすることが大切だと感じました。自信をもって頑張ってください！！

2024年度卒業生 只友 理紗さん（岡山県立津山高校出身）

地元に近い香川県で地域医療が学べる事、異文化交流が積極的に行われていたこと、文系からでも受験可能、というポイントから香川大学を志望しました。今までの学生生活の中で特に思い出が強いのはタイのチェンマイ大学への短期留学です。初めはタイの学生達と仲良くなれるのか、英語での会話、知らない土地での留学にとても不安でした。しかし実際に行ってみると学生たちはみんな優しく、積極的にコミュニケーションを取ってくれ、友達もできました。不安なことたくさんあったけれど、一歩踏み出してみてよかったと思っています。

先生方のサポートは手厚く、学生が主体的に動けるように調整してくださり、応援してくださいました。高校生のみなさん楽しい学生生活が待っているので今は全力で勉強や部活動など自分ががんばりたいと思うことをがんばってください！応援しています。



2024年度卒業生 近藤 このはさん（愛媛県立新居浜西高校出身）

私は両親共に医療系の職種であったこともあり、将来身近な人の支えになることの出来る仕事がしたいと強く思っていました。そのため、看護師や保健師を目指し、大学進学を考えました。入試については、文芸部として文章を書くことを得意としていたため、エッセイのある香川大学のNP入試のスタイルが自分に合うと思い、受験することを決めました。また、香川大学医学部では、附属病院で臨地実習ができることから、充実した環境で学習することができることも、1つの理由として、志願しました。

入学してからの香川大学医学部看護科では、常に先生や仲間と囲まれながら、技術や知識を上記の通り充実した環境下で高めることが出来ていると感じています。また医療や看護について学ぶことはもちろんですが、実習における患者さんとの交流を通して人生観など人として成長する機会も数多くありました。

高校生のみなさんは、将来について不安や悩みもあるかと思いますが、可能性にも満ち溢れていると思います！心から、より良い選択ができるよう、応援しています！



看護師2年目 中島 侑紀さん (兵庫県立宝塚西高等学校出身)

香川大学で学んだこと

私は香川大学に入ってから、自分が行ってみたい看護について考え、目標となる友人や先輩を得ることができました。私自身初めは右も左も分からず入学しましたが、講義を受けていくうちに精神看護の奥深さに惹かれて、いずれは精神看護で活躍できる看護師になりたいと考えています。

香川大学では中学高校とは比べ物にならないほど、人との出会いがありました。看護職は人との関わりが避けられない職だからこそ、学生時代の人との出会いは自分自身の成長になります。出会いは自分自身の価値観と経験を豊かにしてくれました。



NP入試を受けて良かったこと

私はNP入試を受けることで、大学生として、また社会人として求められる、考える力と発信力を身に付けられました。

NP入試では、学校で学ぶ科目の知識の他に、物事に対してどう考えているのか、そしてそれを限られた時間で相手に伝えなければなりません。端的にかつ的確に考えを伝えることは一朝一夕にできることはありません。自身の考えを伝えるといっても、物事に対する知識がなければその言葉はとても薄いものになります。日本や世界を取り巻く現状で何が起きているのか、そして起きている出来事に対してどのような意見がでているのかを知らなければなりません。そしてようやく、自分の意見をもつことができるのだと思います。

次に、考えたことを正確に、かつ分かりやすく時間内に伝えなければいけません。これは試験だけでなく大学の講義、また看護師になっても常に求められます。私はNP入試に向けて、出来事を的確かつ端的にまとめること、それに対してどう考えたのかを即興で話す練習を何度も行いました。そのおかげで、講義や実習、職場でもどの情報に注目して、何を今伝えるべきなのかが分かり、実践できるようになりました。

考える力と発信力はいずれ必ず必要となります。それを培い伸ばす場として、NP入試の受験は最適な場であると思います。

看護師として働くモチベーション

看護の現場でできなかったことができるようになるというのは大きな成長だと感じています。経験の浅い、知識不十分の新人が初めから1人で患者さんのケアに当たることはありません。その手技や疾患などについて勉強・見学し、始めて先輩の見守りの下ケアを行えます。何度も先輩に助けられながら実施します。そしてようやく1人でケアを行えるようになり、できたといえるのです。できない時は、患者さんに頼まれても、先輩方が忙しそうに動いていても、私1人だと何もできないというもどかしさがあります。そのもどかしさが悔しさとなることもあります。

「今日はこれができた！じゃあ明日は今日できなかったこの部分をやってみよう。」と1つ1つ取り組み、少しずつできること増えた時、頑張ってたかったと思えます。

また、大学で看護を学んでいくうちに、こんなこともやってみたいなとふとした時に感じるようになりました。身近な友人や先輩、実習で関わった看護師の姿をみて、「こんな人になりたい！こんな看護をしてみたい！」と願うようになりました。目標の姿に少しだけでも追いついた時、嬉しさが溢れ、まだまだ頑張れると思います。



博士前期課程・公衆衛生看護学コースへ 進学した大学院生の声（保健師養成課程）

村上華音さん（香川県立観音寺第一高等学校出身）
長町尚美さん（大手前高松高等学校出身）

★なぜ、NP入試を選択したのか

村上：オープンキャンパスでNP入試を知りました。高校3年生の時に香川大学に進学したいと決め、多くのチャンスがあるNP入試が自分に合っていると感じました。また、高校時代に力を入れて取り組んだ課題研究やボランティア活動など、自分の強みを生かすことができることから、受験を決めました。

長町：コロナ禍にオンラインでさまざまな講演会に参加し、国際看護の現状や子どもの生活環境、当時の医療現場の状況について学ぶ機会がありました。その中で、看護について深く考えるようになりました。そのため、自分の思いや考えを直接伝えられる面接や小論文があるNP入試は、自分に向いていると感じました。また、NP入試では合格後も学びが続き、入学前から自分の関心を深められること、主体的に学びに取り組める環境があることにも惹かれ、NP入試で受験しようと決めました。

★院生生活はどうか

村上：同期が4人と少数ですが、その分授業では主体的に話し合い、多くの考えに触れることができ、日々刺激を受けています。知識を深めるだけでなく、自分の考えを相手にわかりやすく伝える表現力や多面的に物事を考える力も養うことができます。現在は、自分の関心のある「災害」についての研究に取り組んでおり、充実した毎日を過ごしています。

長町：大学院の授業ではディスカッション形式が多く、仲間と意見を交わす中で新たな視点を得る機会が多くあります。そのため、日々の学びに深まりがあり、常に新しい発見があります。最近では夜間の授業や研究活動も始まり、忙しさは増していますが、充実した毎日を過ごしています。

★保健師になろうと思ったきっかけ

村上：幼いことから両親の影響で医療職に興味がありました。高校1年生でのオープンキャンパスで保健師という職業を知りました。赤ちゃんから高齢者まですべての地域住民の健康や暮らしを支える上で重要な役割を担っていることを知り、その魅力に惹かれました。大学入学後は、地域の健康教室でのボランティアや実習を通して、地域でその人らしく暮らしつづけるための大切さを改めて実感し、保健師になりたいと強く思いました。

長町：実習を通して、私は病院でのケアだけでなく、地域で暮らす人々の健康を支える役割に魅力を感じました。病気になる前の予防や、日常生活の中で健康を守る支援を行う保健師の姿に憧れ、私もそのような存在になりたいと思いました。

★なぜ香川大学を選んだのか

村上：私は香川県出身で、将来は地元に貢献したいという思いがありました。香川大学大学院には保健師課程があり、単に資格を取るだけでなく、保健師に必要な主体性や専門性、思考力を身につけることができると思い、志望しました。また、大学院受験の際は、学部時代からご指導してくださった先生方がいらっしゃることで、興味のある分野を学ぶことができる環境に魅力を感じ、香川大学を選びました。

長町：香川大学はチェンマイ大学との国際交流があり、海外の医療や保健活動について学べる機会があります。また、附属病院とも連携しており、実習環境がとても充実している点も魅力です。保健師コースは2年間あるため、地域の健康課題や保健活動についてじっくりと学ぶことができます。社会課題や人々の健康に向き合いながら、自分の関心を深めたいと考え、大学院への進学を決意しました。

NP入試を経て、大学院博士前期課程 助産学コース へ進学した大学院生からのメッセージ

吉本さやかさん（兵庫県 伊丹高校 出身）

私は助産師になりたいという思いから、助産学コースが開設された香川大学を受験する決意をしました。NP入試を受けるにあたり、小論文は様々なテーマで時間制限をしつつ、構想から文章を作る練習を行いました。文章を書くことが苦手でしたが、何度も練習を重ねることで次第にできるようになったことを今でも覚えています。面接は緊張した中でも明るく自分らしく話す練習をしたことを覚えています。

今では看護課程を終え、助産学コースで学んでいます。看護実習や助産学実習は楽なものではありませんでしたが、優しく熱意のある先生方や附属病院の指導者さんのご指導を賜り、基礎的な看護・助産技術を身に付けることができましたと思います。

NP入試を受けるみなさん、香川大学助産学コースから応援しています。

渡邊咲美さん（香川県 三本松高校 出身）

私は、中学生の頃に助産師になりたいという夢を持ちました。香川県出身であり、附属病院で実習ができること、そしてその附属病院が特定機能病院であることから、学生のうちから高い医療レベルに触れることができると考え香川大学を志望しました。また香川大学に助産学コースが開講されることを知り、絶対ここで学びたいという思いが強くなりました。受験方法でNP入試を選んだ理由としては、自分のこの熱意を伝えなかったことと、熱心に対策に付き合ってくれた高校の先生がいてくれたからです。無事合格をいただくことができ、4年間ここで濃度の濃い看護の勉強ができたと思います。

4年間の中でお世話になった先生方に助産に進んでも教わりたいという思いがあったため、中学の頃から一度も志望校を変更せず今ここにいます。夢を叶えるために一緒に思い悩んで相談に乗ってくれる先生、恵まれた実習環境があるこの場所でぜひ一緒に学んでいきましょう！

井内春花さん（香川県 三木高校 出身）

私は、早く看護を学びたいという思いからNP入試を選びました。高校生の頃から助産師を志し、大学入学前から教材を借りたり、先輩に話を聞いたりして準備を進めてきました。

実際に学び始めてからも、生命の誕生という特別な瞬間に立ち会える助産師の仕事に強く魅力を感じています。大学院では実際に分娩に立ち会います。分娩は何度経験しても感動があり、高校時代からの夢を追いつけて本当に良かったと感じています。助産学ではまた、生命の尊さだけでなく、母子や家族に寄り添う大切さも学ぶことができ、看護の本質を深く考える機会となりました。



吉本さん

渡邊さん

井内さん

香川大学医学部看護学科 NP入試 入学者出身校

※2017年度～2025年度入学者



※2017年度～2025年度総合型選抜Ⅰ
入学者の出身高等学校名です。
（都道府県別 順不同）
※高等学校名は出願時の名称です。
※各学校名の後の「高等学校」「中等教育学校」等は省略しています。

香川大学医学部看護学科 NP入試入学者 出身地・進路

NP入試入学者 出身地（2017～2025年度）

出身地	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
香川県	8	7	10	10	13	11	10	12	8
岡山県	6	6	6	6	7	4	5	1	3
愛媛県	3	8	6	4	6	5	7	10	7
徳島県	1	0	1	1	1	0	2	0	0
中国地方 (岡山除く)	2	0	2	1	0	2	0	2	3
近畿地方	6	6	2	4	0	3	2	0	2
中部地方	0	1	0	1	0	1	0	0	1
九州・沖縄 地方	1	0	0	0	0	1	1	1	2
関東地方	0	0	0	0	0	0	0	1	0
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	1

NP入試入学者 進路（2017～2021年度）

進学・就職先	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
香川大学医学部附属病院	10	16	10	7	12
その他病院看護師	9	4	9	10	9
保健師	2	2	5		
大学院進学（助産学）	2	4	3	4	1
大学院進学（看護学）	2	0	1	0	0
大学院進学（保健学）	1	0	0	1	2
教職大学院進学	0	0	0	1	0

※

※2020 年度入学者から医学部看護学科における保健師課程の選択制を廃止

2023 年度入学者から大学院(博士前期課程)における公衆衛生看護学コース(保健師養成課程)の新設

香川大学医学部看護学科をもっと知るために

香川大学医学部看護学科ホームページ

<https://www.med.kagawa-u.ac.jp/faculty/about/kangogakka/>

香川大学医学部 進学希望の方向けページ

<https://www.med.kagawa-u.ac.jp/admission/>

看護学科 学科紹介動画

<https://www.youtube.com/watch?v=6KSeSnDBWsc>



看護学科同窓会 木蓮会について

<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/~mokurenkai/>



<NP入試について>

2026年度香川大学

ナーシング・プロフェッショナル育成入試の概要

https://www.med.kagawa-u.ac.jp/prospective_students/kango/suisen_nyuushi/

2026年度香川大学

ナーシング・プロフェッショナル育成入試学生募集要項

https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/17488/



<NP入試以外の入試についても知りたい方>

看護学科入試について

https://www.med.kagawa-u.ac.jp/prospective_students/kango/



<発行元>

香川大学医学部看護学科

〒761-0793

香川県木田郡三木町池戸1750-1

<問い合わせ先>

香川大学医学部学務課入試係

TEL : (087) 891-2074

Email : nyuusi-m@kagawa-u.ac.jp